



# 2023年12月期通期 決算説明資料

FIG株式会社 2024年2月14日





# FUTURE INNOVATION GROUP



商号 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)  
 設立 2018年7月2日  
 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年  
 代表者 代表取締役社長 村井 雄司  
 所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
 従業員数 774名 (2023年12月末現在連結)



- 01 | **2023年12月期通期決算概要**
- 02 | **事業ポートフォリオの見直し**
- 03 | **2024年12月期計画と取り組み**
- 04 | **事業のトピックス**
- 05 | **補足資料**

# 01 | 2023年12月期通期決算概要

## 成長分野である搬送ロボットの開発に経営資源を投下（着実に進展中）

FY2023

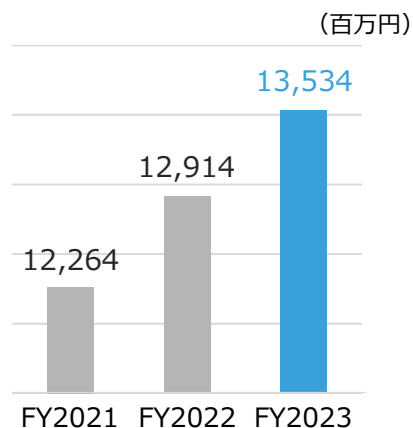
FY2024

- 01 | IoTセグメントは、主力のIP無線・モビリティ関連サービスが好調
- 02 | 期初計画は達成したものの、修正計画（上方修正）は利益面が未達
- 03 | 4Q業績が想定を下回る（半導体関連在庫調整影響、投資有価証券評価損等の特別損失計上）
- 04 | ロボット関連はFA向け（工場・倉庫）に顧客基盤が拡大（売上高10億円目標を達成）

## 売上高

**135** 億円

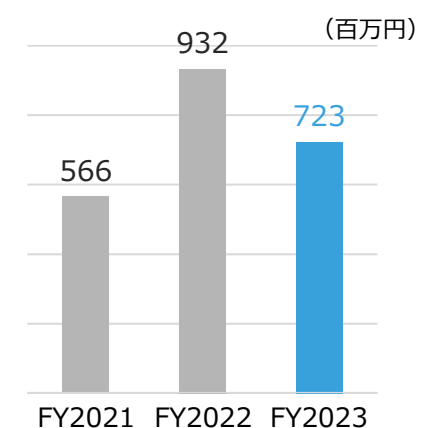
前年比：+4.8%



## 営業利益

**7.2** 億円

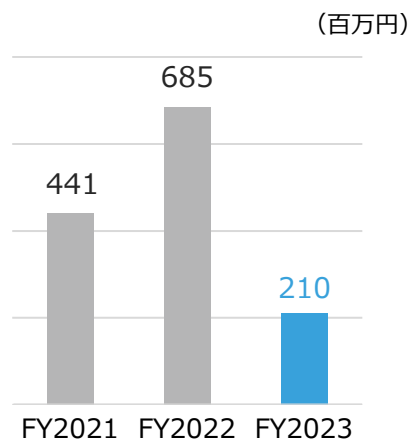
前年比：△22.4%



## 最終利益

**2.1** 億円

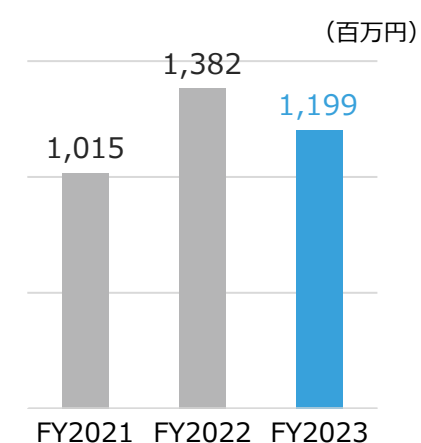
前年比：△69.4%



## EBITDA

**11.9** 億円

前年比：△13.2%



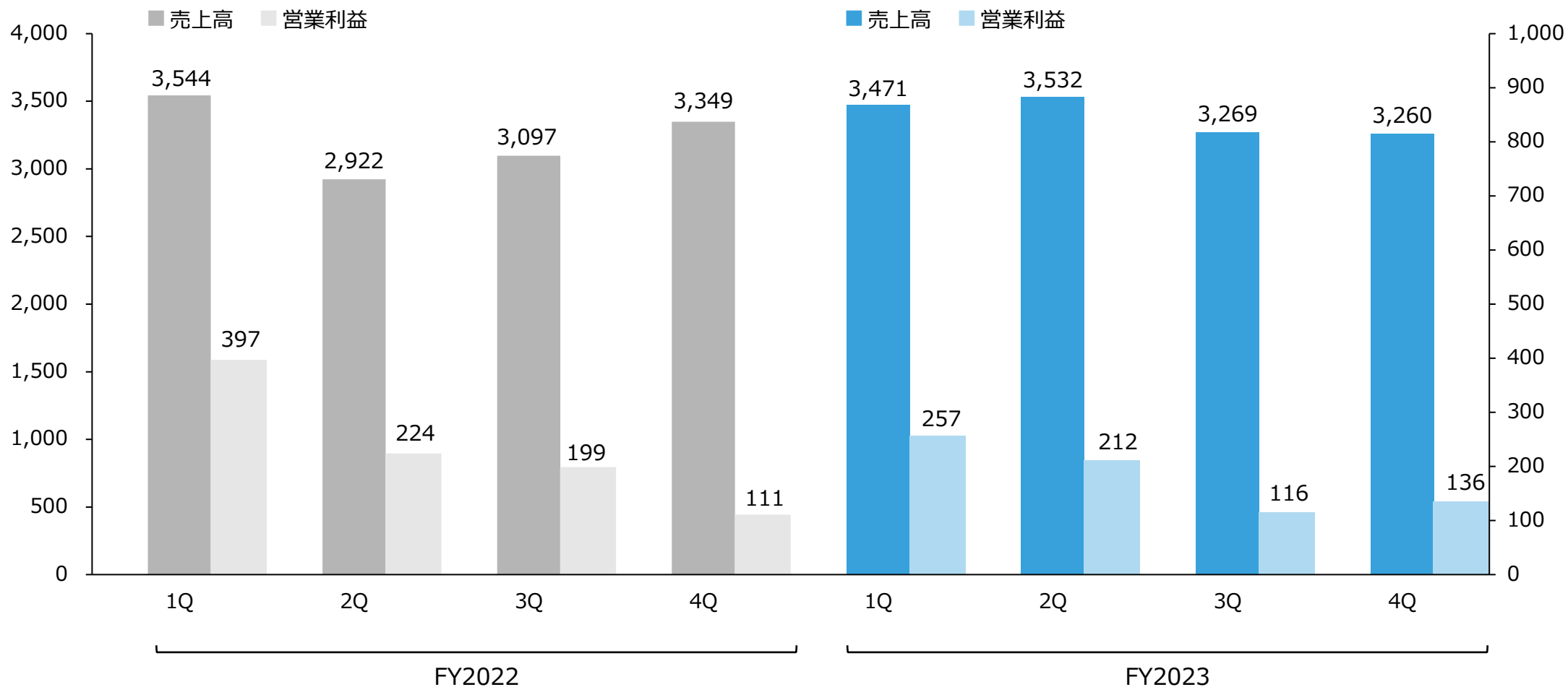
※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

# 四半期業績推移（売上高・営業利益）

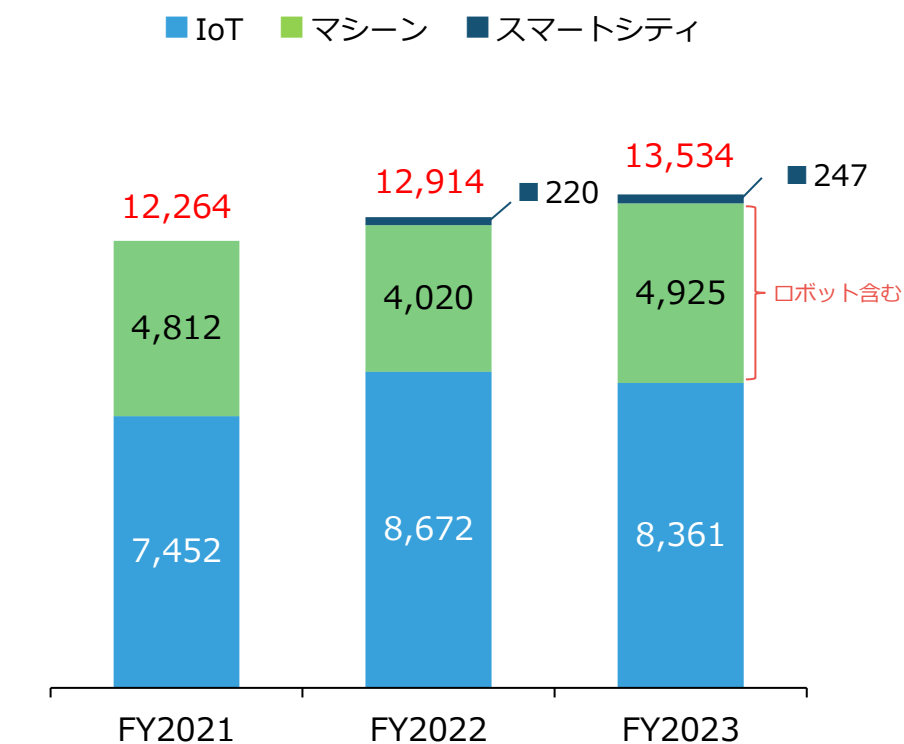
売上高  
(単位：百万円)

営業利益  
(単位：百万円)



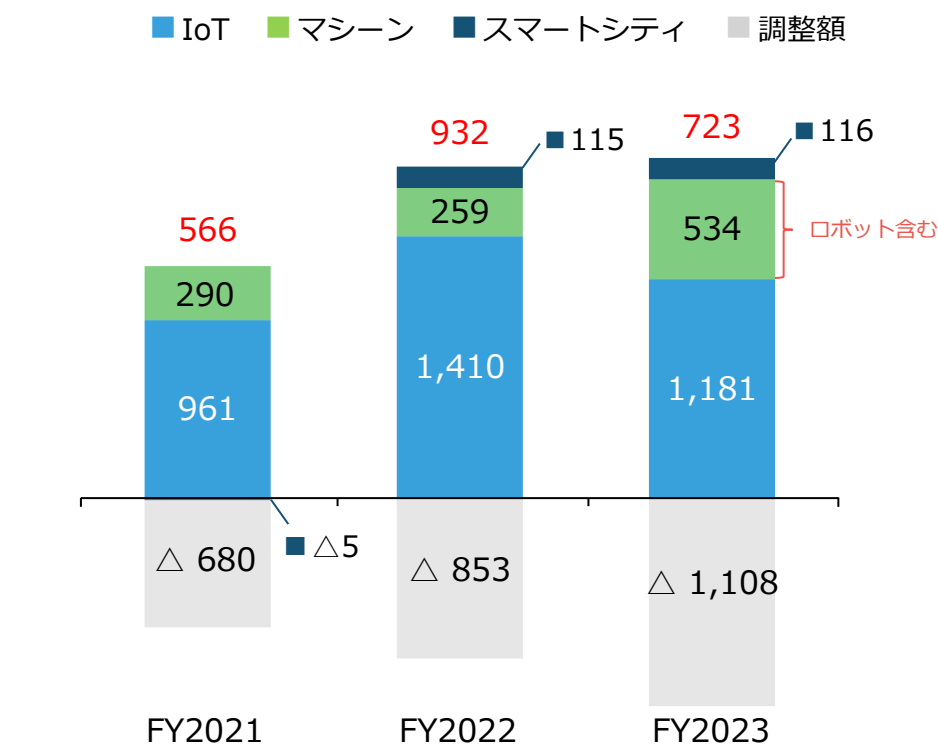
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)





## 02 | 事業ポートフォリオの見直し

## スマートシティ事業のオフバランス化（ロボット事業への投資に組替）

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

### IoT（基盤拡大+成長投資）



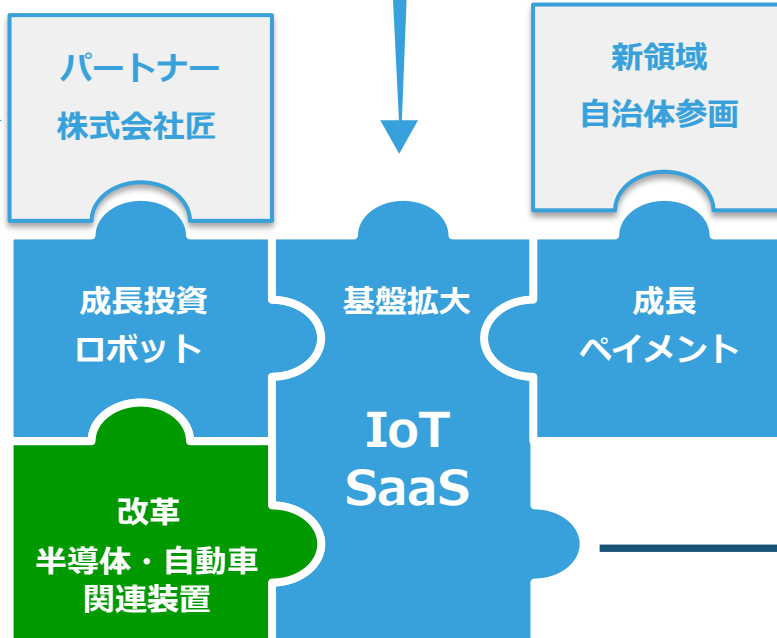
積極的投資とM&A推進による成長  
 基盤のIoT×SaaS事業拡大  
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展（単独セグメント化を目指す）

成長投資  
 ロボット

積極的な投資を実行  
 投資枠**20億円**を設定（累計投資）  
 ロボットで**50億円**の売上を目指す



付加価値の高いビジネスモデルへ改革中  
 ロボット事業に本格的参画  
 ロボットと設備連携による自動化推進



※売却後もスマートシティの実証実験フィールドとして活用継続  
 （ロボット配送、顔認証、民泊スマートチェックイン等）

### スマートシティ（1Qで売却）

次の3つの観点による事業評価により  
 企業価値に貢献する事業であるか判定

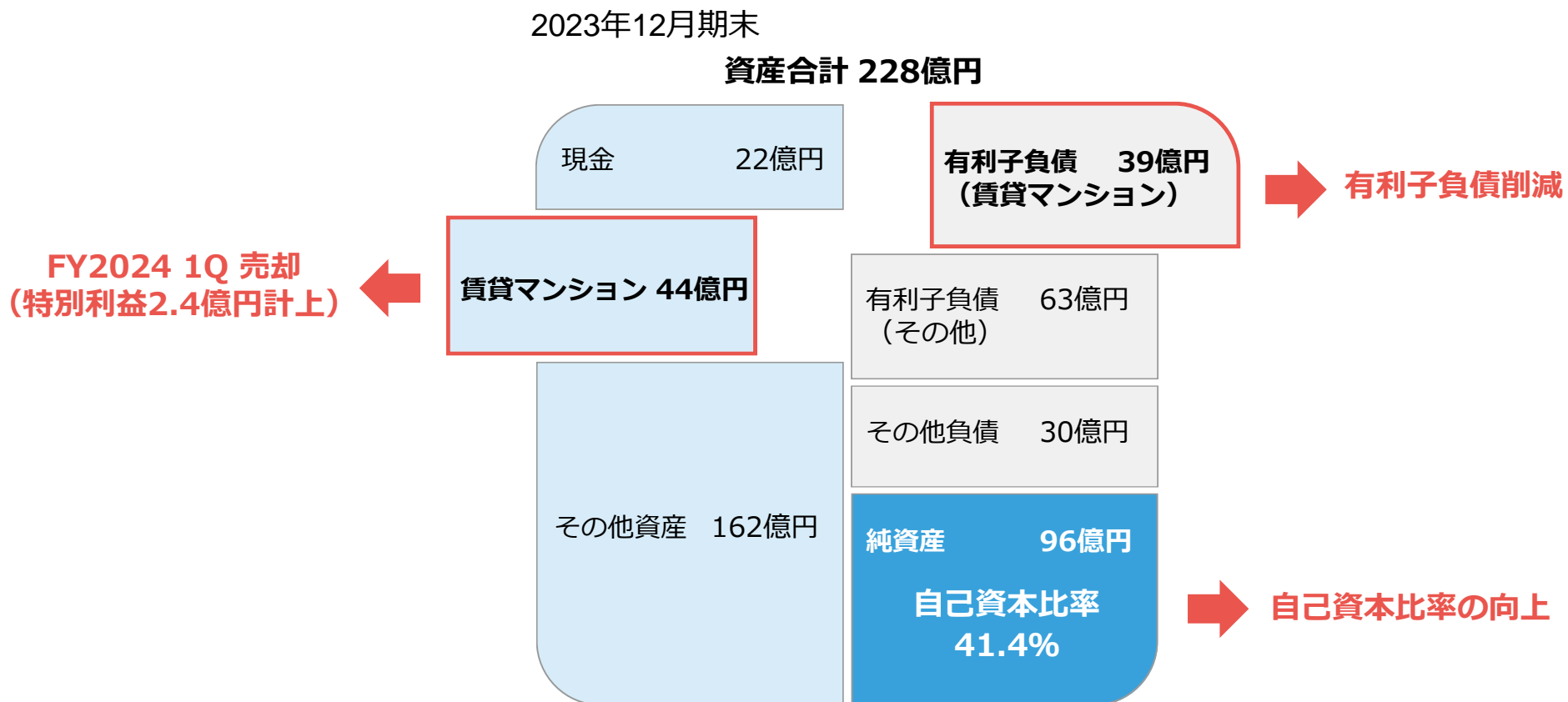
自社がベストオーナーか

資本効率と収益性

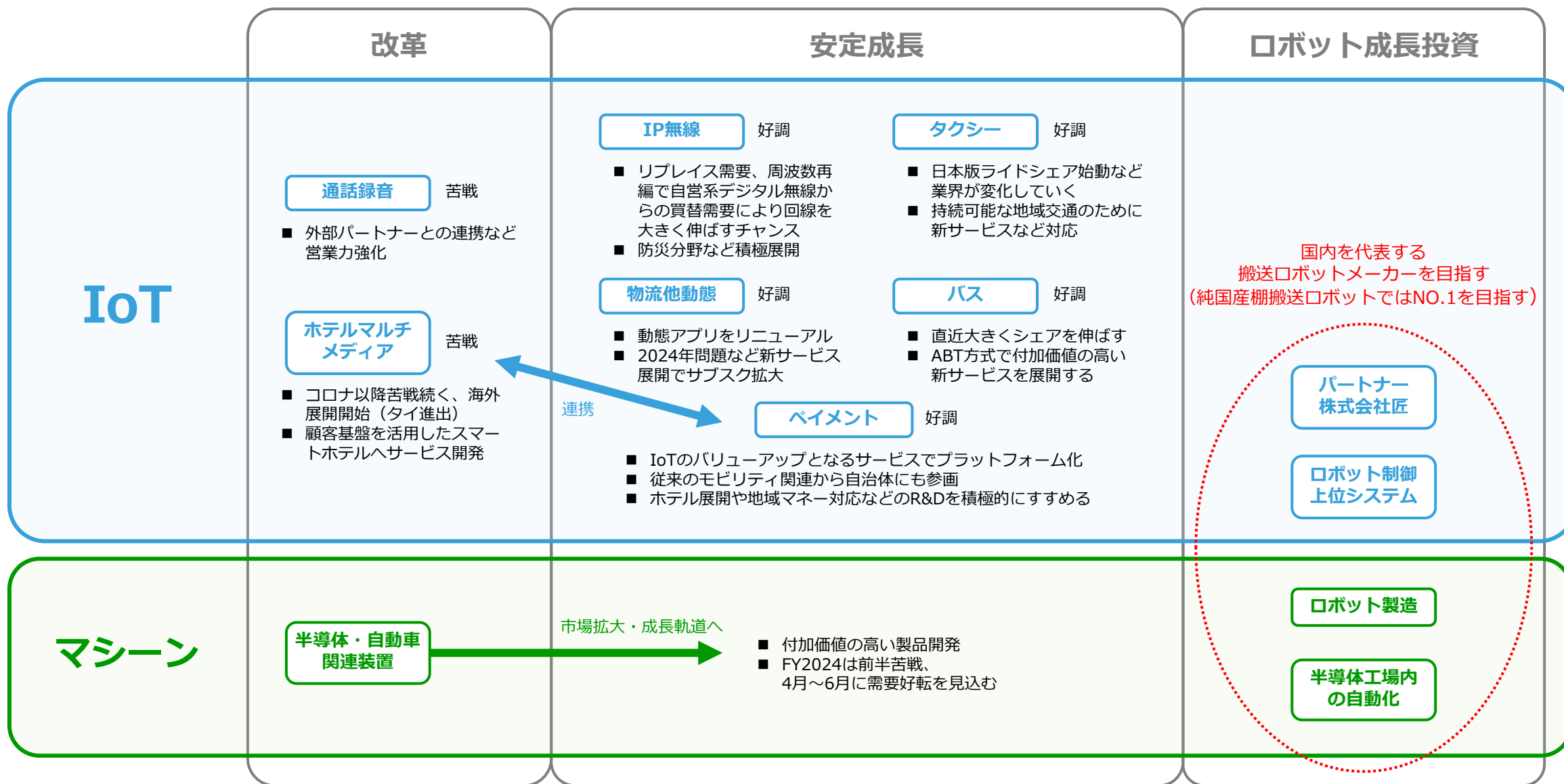
成長戦略との適合性

長期安定  
 賃貸  
 マンション

## 資産効率化と財務体質改善のため、賃貸マンション（スマートシティ）をオフバランス化



- ✓ 賃貸不動産（スマートシティ）は、資産ベースのROICが約1.8%と低く、当社目標のROICを大きく下回る
- ✓ 経営資源をコア事業と成長投資に集中させ、資本・資産効率の向上に取り組んでいく
- ✓ 今回のオフバランス化で、有利子負債を削減し、成長分野への投資余力を確保する



# 03 | 2024年12月期計画と取り組み

## 次の中計に向けて持続的な成長への基盤を構築する（成長ドライバーはロボット）

FY2023

FY2024

FY2025

- 01 | 中期経営計画（FY2022-FY2024）最終年度KPIの達成
- 02 | 成長分野であるロボットへの投資（中核事業に発展させるための土台を築く）
- 03 | IP無線のシェア拡大（リプレイス需要と周波数再編で自営系デジタル無線からの買替需要）
- 04 | モビリティ分野（物流、バス、タクシー）への新サービス展開
- 05 | 前半は半導体市場の在庫調整が影響、4月～6月に需要好転を見込み、後半の見通しは良好

(単位：百万円)

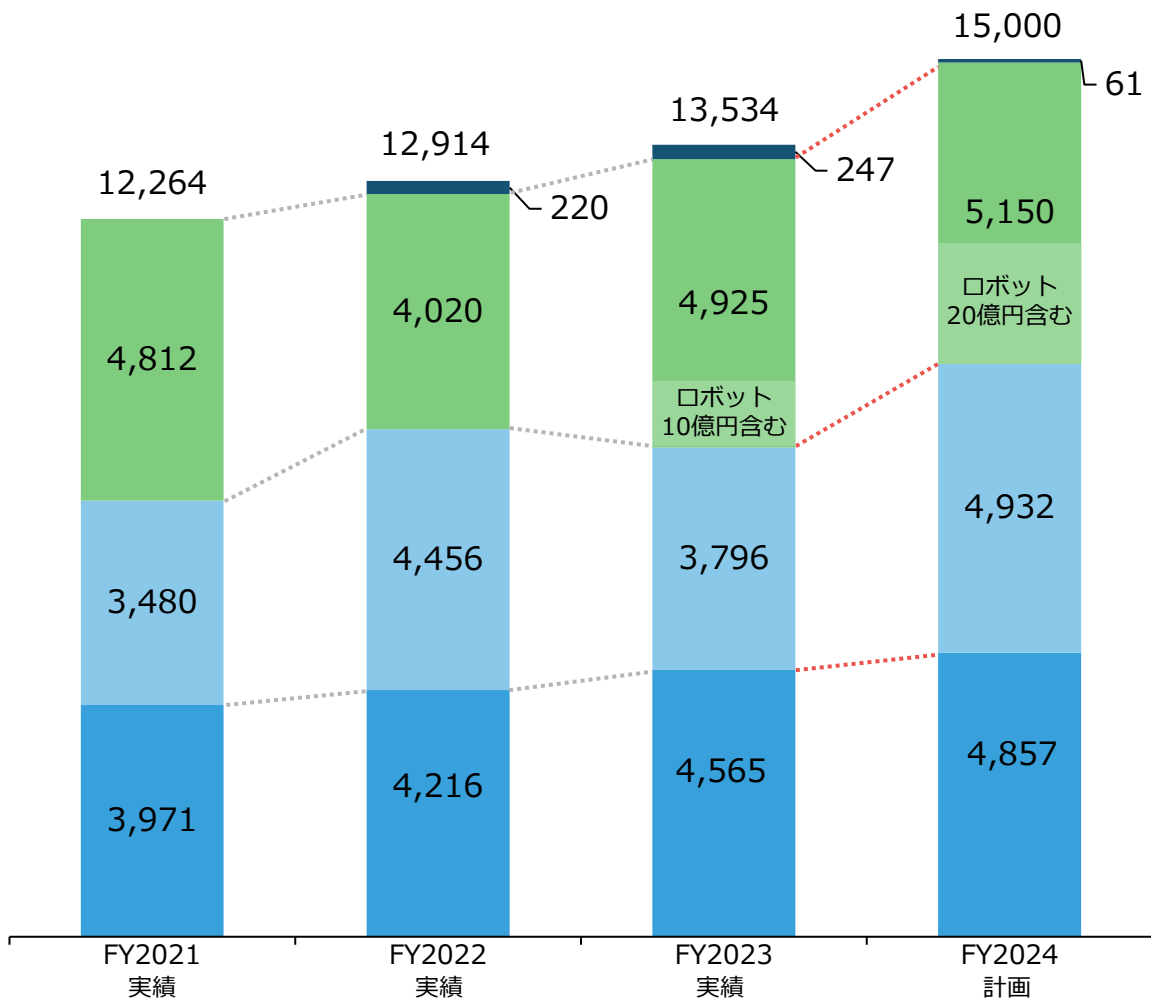
	FY2023実績		FY2024計画			
	2Q累計	通期	2Q累計	通期		
				前年同期比	前期比	
売上高	7,004	13,534	<b>6,800</b>	△2.9%	<b>15,000</b>	+10.8%
営業利益	469	723	<b>300</b>	△36.2%	<b>1,123</b>	+55.2%
経常利益	478	715	<b>283</b>	△40.8%	<b>1,092</b>	+52.7%
最終利益	342	210	<b>417</b>	+21.7%	<b>1,000</b>	+375.7%

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

- ✓ FY2024上半期は半導体市場の調整局面の影響があるものの、下半期は業績好調の見通し
- ✓ 主力のIoTはモビリティ分野が好調で、ロボットは下半期に導入を加速

# 通期業績予想（セグメント別売上高）

（単位：百万円）



※売却によりFY2024 1Qのみ計上

- その他事業**
  - その他 **61百万円**
- マシン事業**
  - マシン **5,150百万円（前年比+4.6%）**
- IoT事業**
  - フロービジネス **4,932百万円（前年比+29.9%）**
  - サブスク **4,857百万円（前年比+6.4%）**

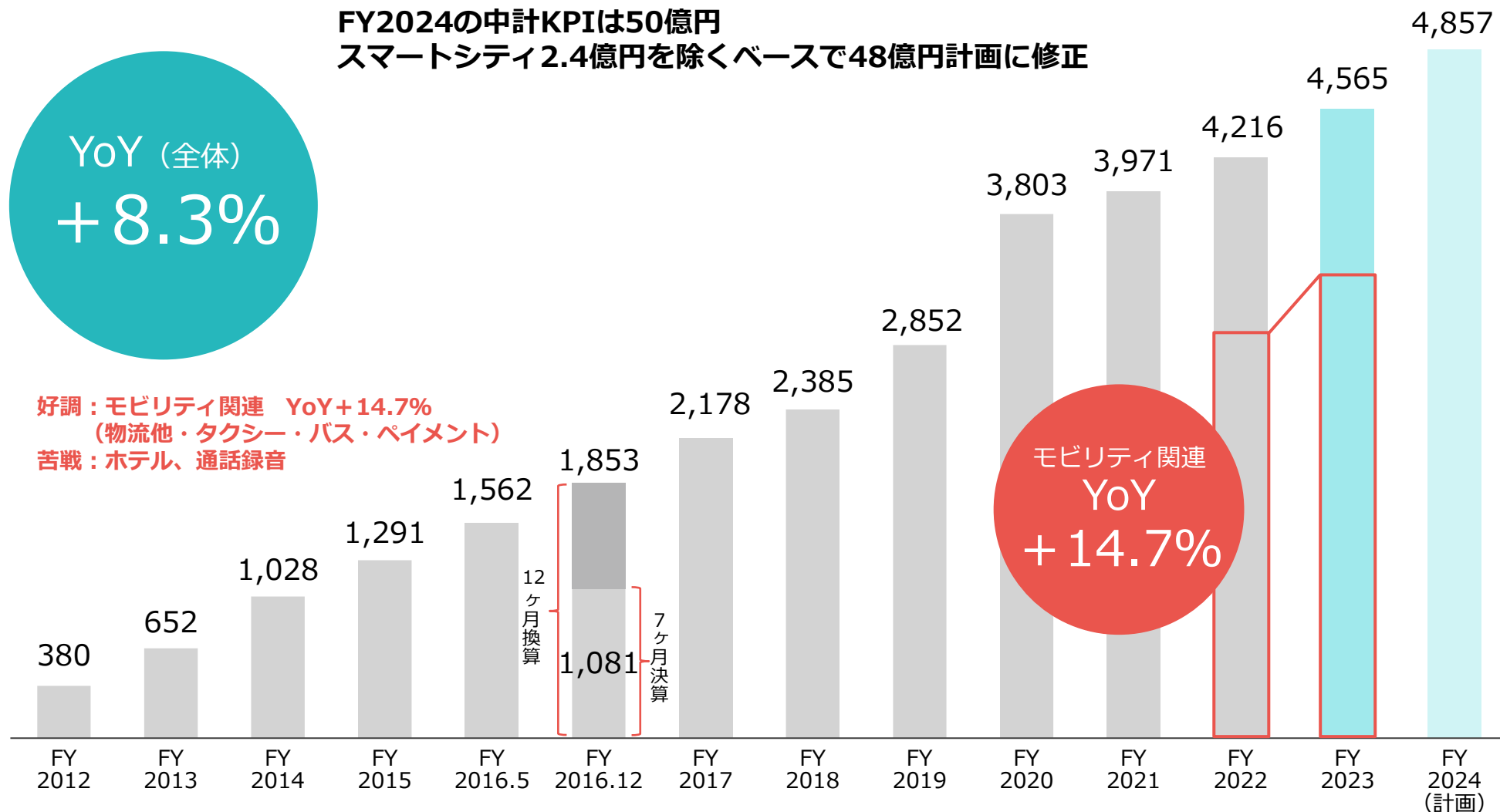


## 収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

FY2024の中計KPIは50億円  
スマートシティ2.4億円を除くベースで48億円計画に修正

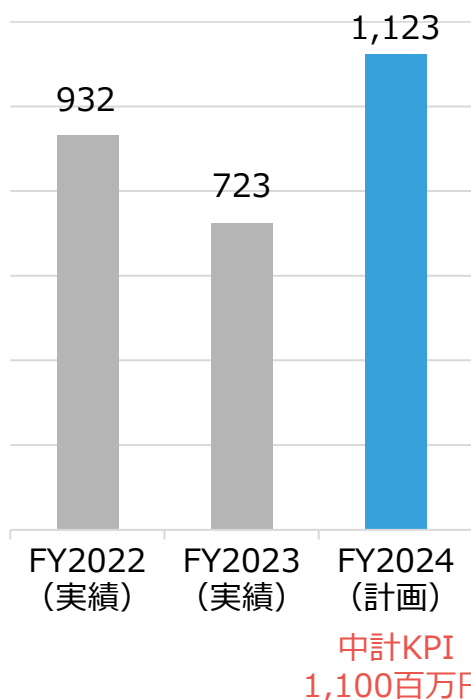
YoY (全体)  
**+8.3%**



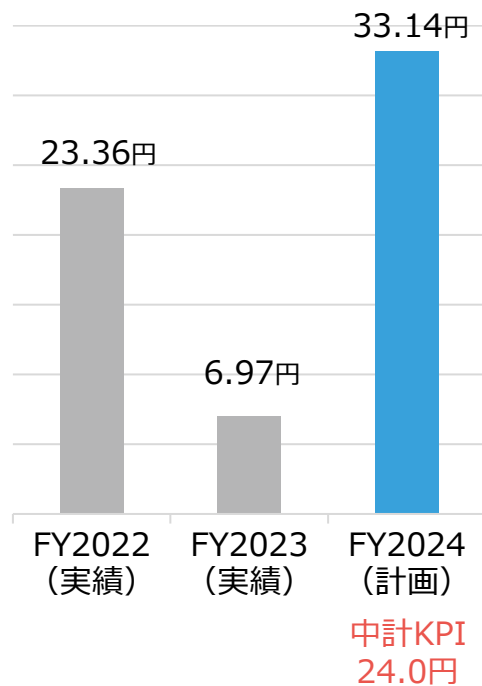
※スマートシティは売却のため実績より除外しています

## 営業利益

(単位：百万円)

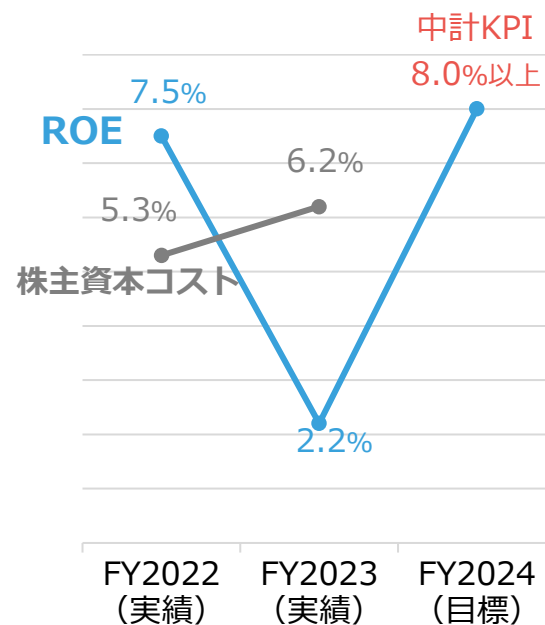


## EPS



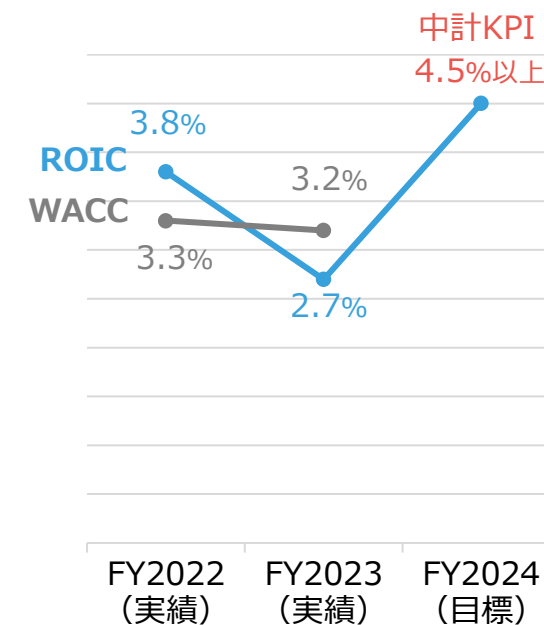
## ROE・株主資本コスト

■ ROE ■ 株主資本コスト



## ROIC・WACC

■ ROIC ■ WACC



## 現状認識

- ✓ 当社のPBRは1倍前後で推移しており、PBR向上は経営の重要課題
- ✓ 2021年12月に株主資本コストを上回るROEとWACCを上回るROICのKPIを公表
- ✓ 資本コストを上回る資本収益性と投資者から期待される成長性が重要であると認識

## 方針

- ✓ 中期経営計画（FY2022-FY2024）の最終年度KPI達成を目指す  
（サブスク売上高50億円以上、営業利益11億円以上、EPS 24円以上、ROE 8%以上、ROIC 4.5%以上）
- ✓ イノベーション創出力を高め、持続的な成長への基盤を構築する

## 具体策

- ✓ 事業ポートフォリオの見直しと最適化を実施（賃貸マンション事業のオフバランス化）
- ✓ 基盤事業拡大とロボット・ペイメントへの成長投資に経営資源を集中
- ✓ 継続的な機関投資家と個人投資家への決算説明会の開催、IRフェア等にも参加検討
- ✓ IRに加え、まず知ってもらうためのPRを強化する（ホームページやSNSを活用した認知度の向上）
- ✓ 株主還元策の見直しを検討

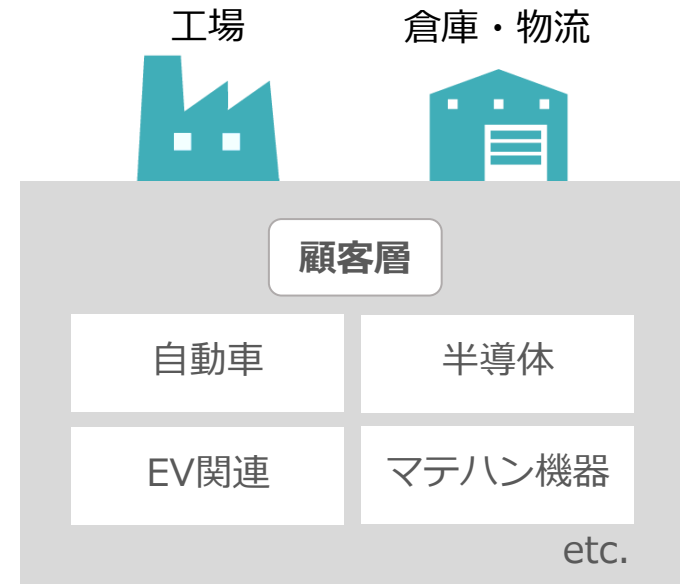
# ロボット（国内を代表する搬送ロボットメーカーへ）



To the future with robots



## FA・自動化向けをターゲット市場



## FY2024にロボット売上高倍増、次期中計で売上高50億円突破を目指す



サービス  
向け



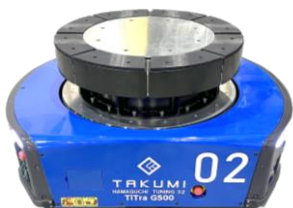
自社AMR



FA向け



他社AMR +  
マニピュレータ



GTP型AGV

※匠製（FIGで製造）

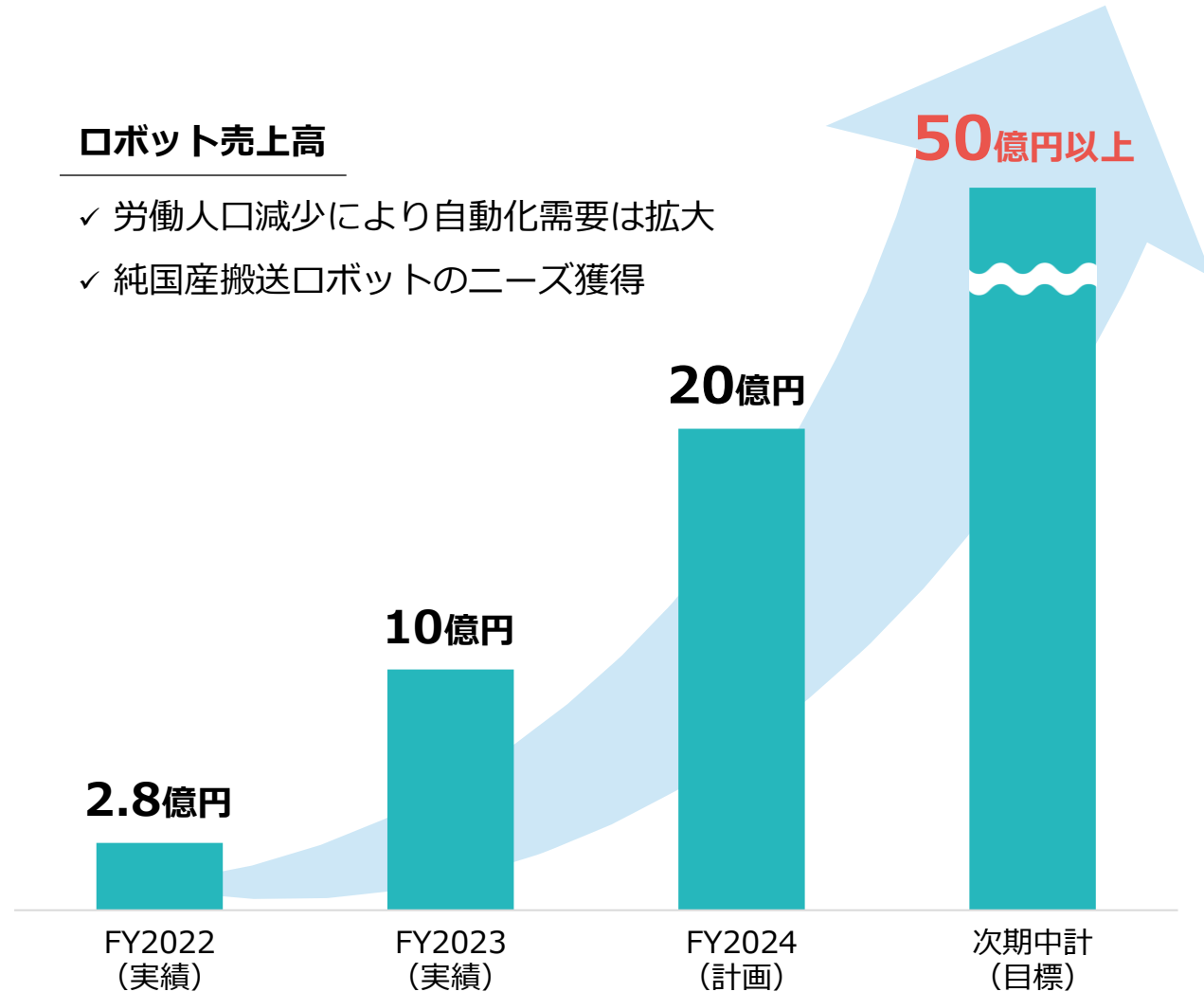


自社AMR

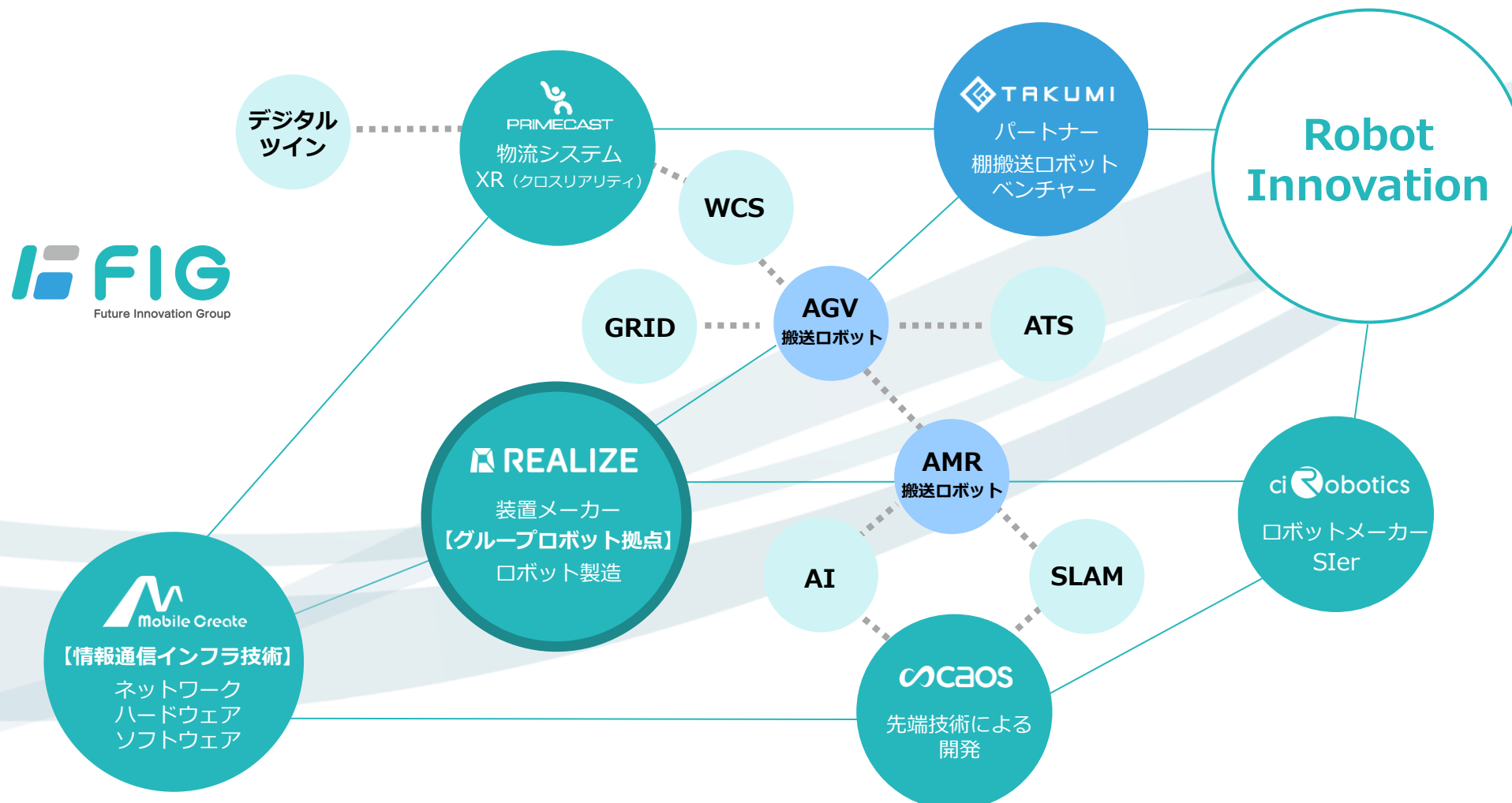
※プロトタイプ

### ロボット売上高

- ✓ 労働人口減少により自動化需要は拡大
- ✓ 純国産搬送ロボットのニーズ獲得

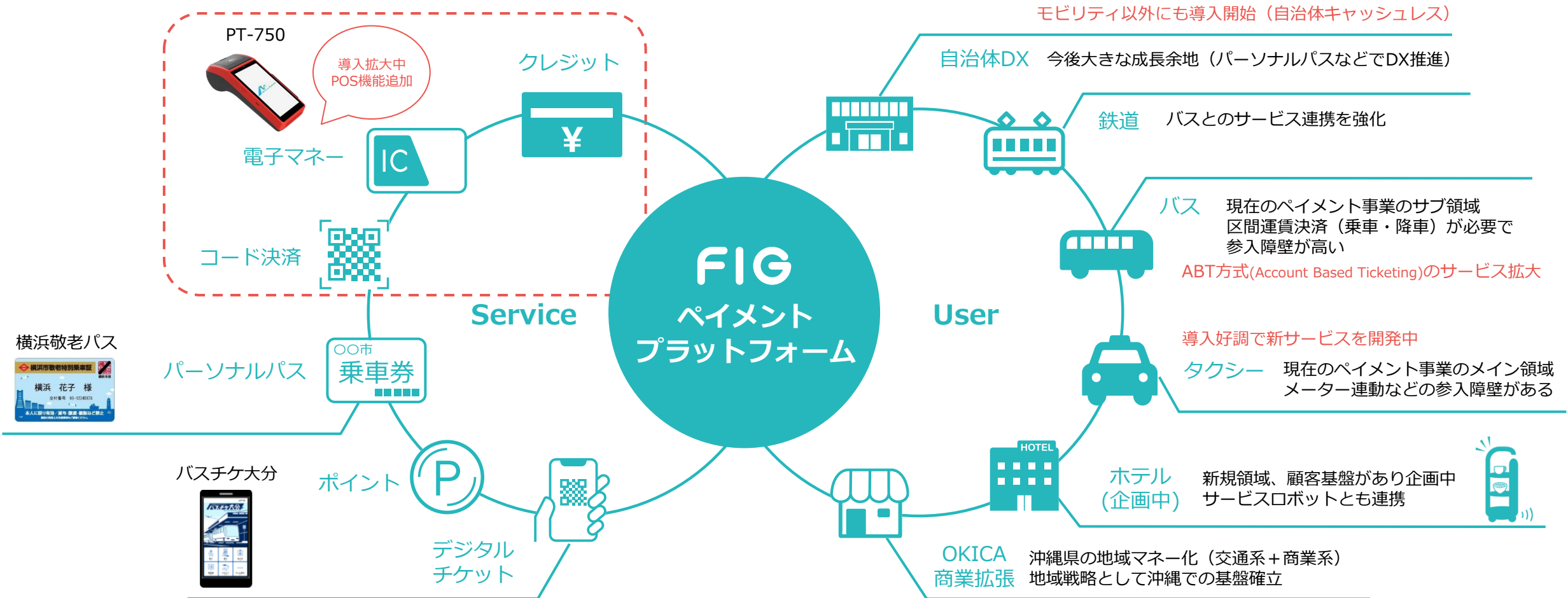


ロボットは「センサー、知能・制御系、駆動系の3つの要素技術を有する、知能化した機械システム」  
グループ一体となったロボット推進体制を構築(搬送ロボットに必要な要素技術をカバー)



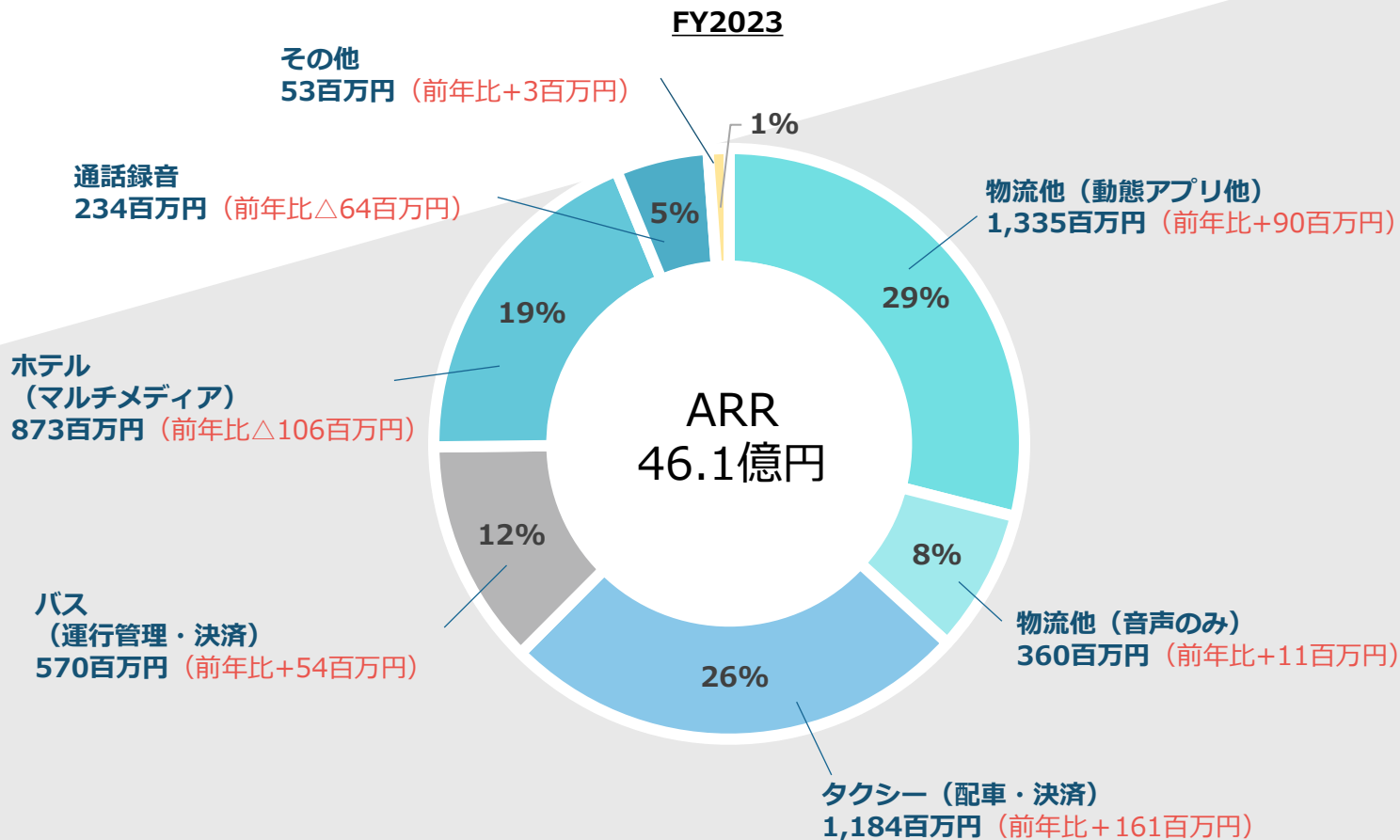
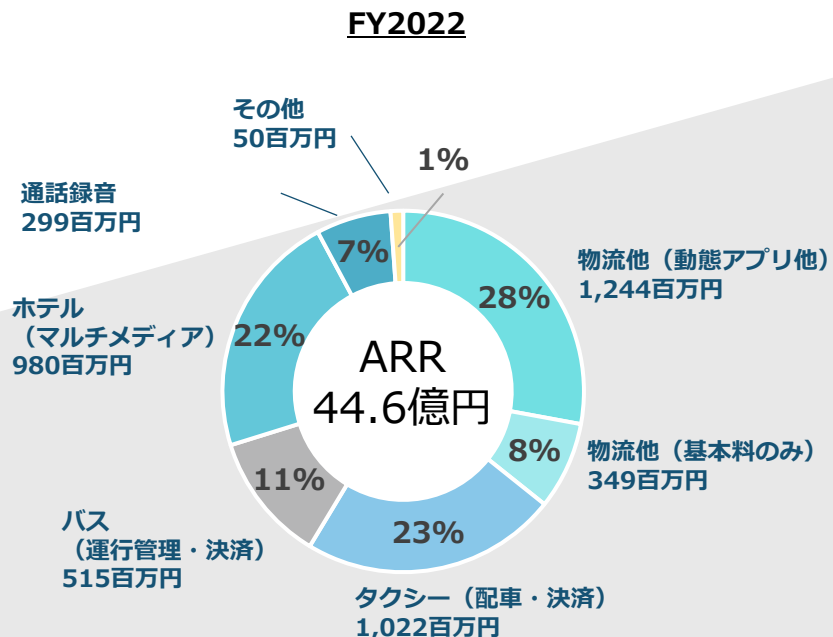
## ペイメントプラットフォームの構築

地域MaaSやデマンド交通の社会実装を推進（地元大分の地盤や沖縄OKICA活用）



FY2023は一部サービスが前年比マイナス  
**ARR + 1.5億円**

FY2024はモビリティ関連が好調継続の見通し



※スマートシティ事業は売却のため、FY2022とFY2023の実績より除外しています

※ARR (Annual Recurring Revenue) は、各年度12月時点のMRR (Monthly Recurring Revenue) を12倍にして算出



# 04 | 事業のトピックス

## REALIZEのPLC連携システムと資本業務提携先である株式会社匠のAGVシステムを共同で納入



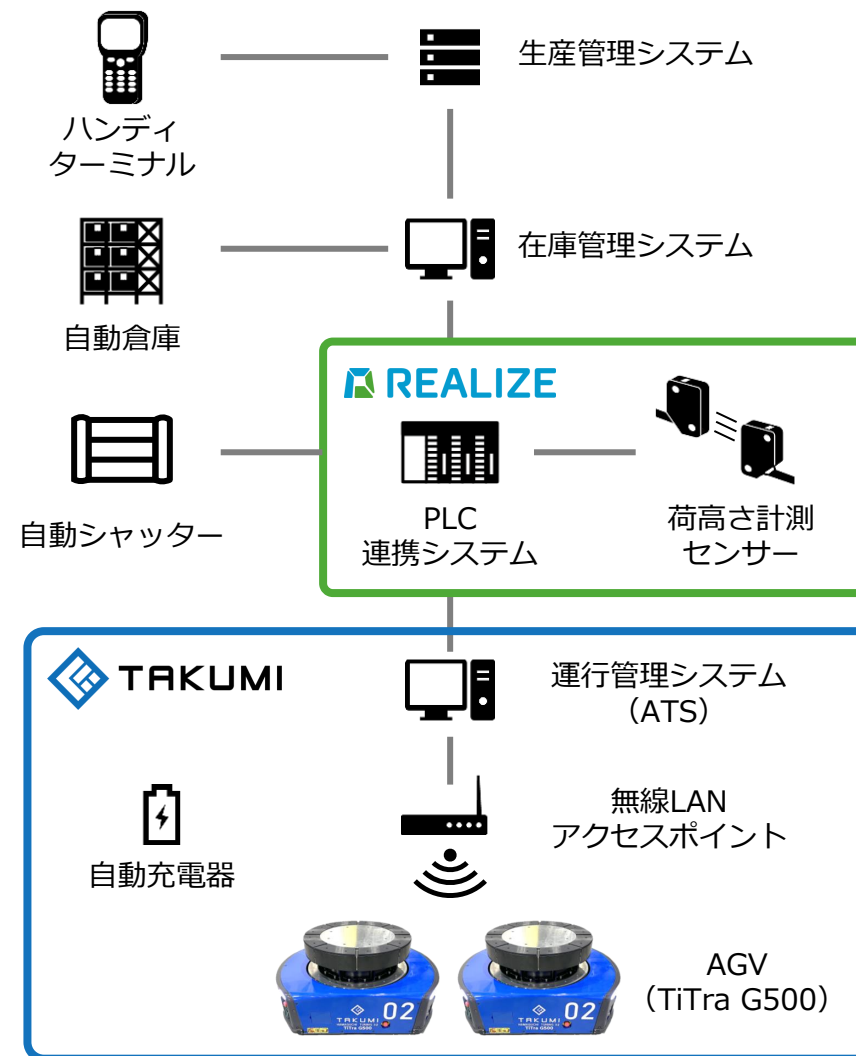
- ✓ REALIZEと匠が、自動倉庫連携によるパレットの自動搬送システムをハタノ製作所に共同で納入し、2024年1月から運用開始
- ✓ REALIZEは自動倉庫やシャッター連携などPLC連携システムを開発
- ✓ 匠のグリッド式AGV（無人搬送車）「TiTra G500」はREALIZEが製造



TiTra G500



PLC連携システム



## 大分県に2024年3月導入完了予定・福岡県受注

- ✓ 「令和5年度大分県モバイル型キャッシュレス決済端末等導入業務委託」に係る公募型プロポーザルにてキャッシュレス決済端末PT-750が最優秀ソリューションに選ばれた
- ✓ 主な導入先である交通分野以外での本格的な導入は初
- ✓ 大分県の収納窓口における使用料及び手数料等の公金収納において、支払手段の多様化による県民の利便性向上と県の業務効率化を図る

### 大分県内導入施設



キャッシュレス決済端末

# PT-750



### POINT 1

#### マルチマネー対応



### POINT 2

#### 持ち運び可能なモバイル決済端末

### POINT 3

#### POS機能（販売時点情報管理）とともに 精算業務の一本化

福岡県へ2024年導入予定

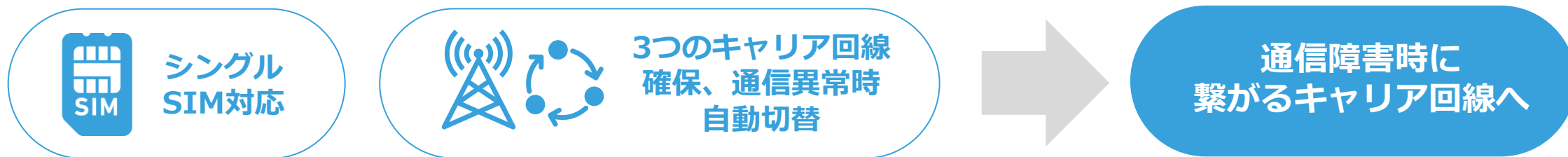


2024年3月  
大分県内 **80か所**へ  
導入完了予定

## 業務用IP無線システムiMESHシリーズにおいて「マルチプロファイルSIM対応プラン」を順次提供開始

- ✓ 1つのSIMで3つのキャリア回線を確保し、つながりやすい回線に自動的に切替わるキャリア冗長化の仕組みを開発
- ✓ 通信障害の被害を最小限に抑えることができるため、業務停止期間の短縮や安全確認体制の強化などBCP対策をより確実に構築することが可能

### 「マルチプロファイルSIM対応プラン」の特徴



### 業務用IP無線システムiMESHシリーズ順次対応



1台でハンディ型と車載型の両方に適応した新世代のIP無線

## IM-861

- 既存モデルのIM-860をより使い易く改良
- 車載用デバイスでありながら、車載用コードを簡単に取り外せるため持ち運びしやすく車両の中だけではなく外でも活躍



## 「デマンド交通向け業務管理システム」導入開始

- ✓ 人口減少に伴う路線バスの廃止や、公共交通空白地域の拡大、ドライバー不足により地域交通の維持が困難に
- ✓ ライドシェア検討やデマンド交通を導入する自治体が増加



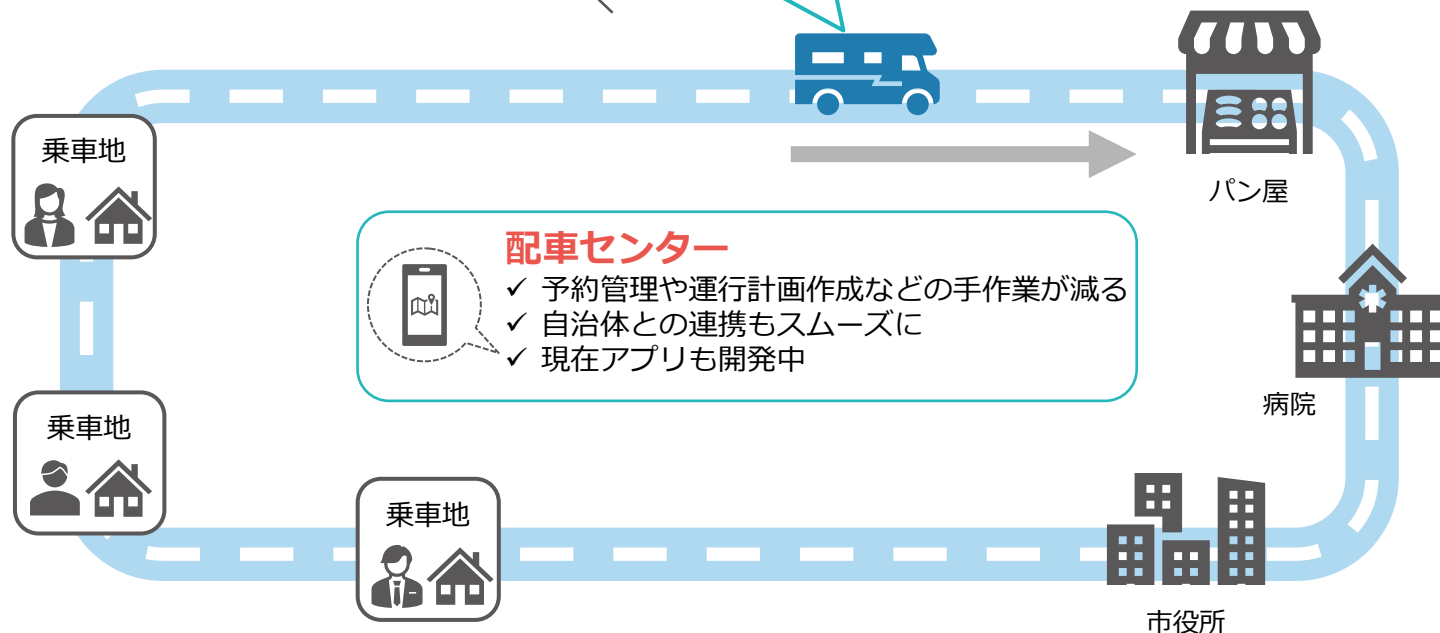
### 地域住民

- ✓ 利用が増えることで運行地域の拡大へ
- ✓ 希望の停留所の増加や増便

### 自治体

- ✓ 公共交通空白地域の減少
- ✓ 利用者増加
- ✓ 高齢者の外出機会創出

複数の人が乗り合わせる



## 国内最大級の大型ドローン「ciDroneAG R-70」

- ✓ 国内最大級の農薬散布ドローン
- ✓ 70Lタンクを備え、これまで積載量不足によって非効率的だった空中散布登録のとれていない薬剤の効率的な散布を実現



ciDroneAG R-70

最大15m



散布幅

70L



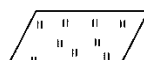
タンク容量

20分



飛行時間

6ha以上



散布能力

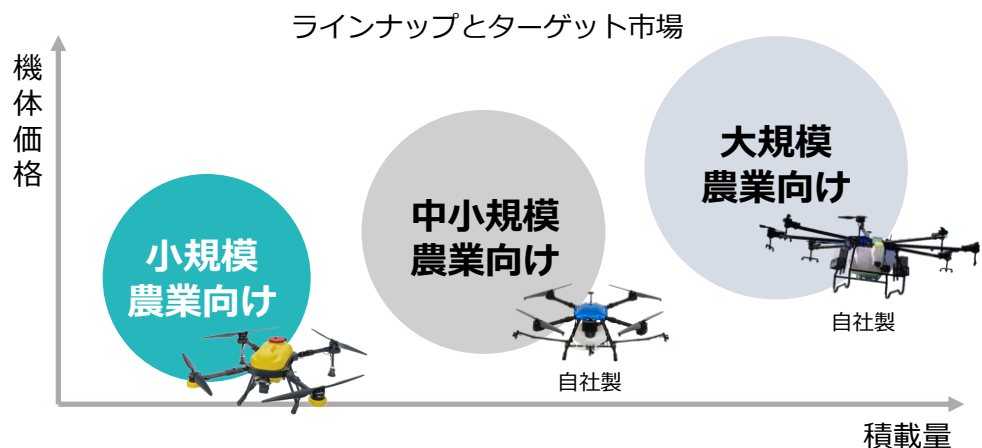
## 住商アグリビジネス北見支店エリア 雪腐病防除

- ✓ 大型ドローンciDroneAG R-70を北海道で防除に使用
- ✓ ciRoboticsとの共同作業で3日間合計40ha以上を防除、広大な農地との高い親和性と効率性を確認



## グラントマト株式会社への導入

- ✓ 福島県のアグリビジネスカンパニー
- ✓ 農薬散布サービスを行っており、ciRoboticsの他ドローン各種も納品



その他納品ドローン



M4T12 (10Lモデル)



ciBoat (水稲用)



# 05 | 補足資料

# セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2022年12月期					2023年12月期					前年比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,544	2,922	3,097	3,349	12,914	3,471	3,532	3,269	3,260	13,534	+619	4.8%
IoT	2,389	2,120	2,172	1,991	8,672	2,217	2,120	1,939	2,083	8,361	△311	△3.6%
マシン	1,119	746	859	1,295	4,020	1,191	1,350	1,268	1,114	4,925	+904	22.5%
スマートシティ	36	55	66	62	220	62	61	61	62	247	+26	12.0%

営業利益	2022年12月期					2023年12月期					前年比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	397	224	199	111	932	257	212	116	136	723	△208	△22.4%
IoT	560	318	349	181	1,410	445	217	226	291	1,181	△228	△16.2%
マシン	△2	74	40	146	259	60	225	124	123	534	+274	105.7%
スマートシティ	20	36	27	31	115	30	29	27	29	116	+1	0.9%
調整額	△181	△205	△218	△248	△853	△278	△258	△263	△307	△1,108	△255	-



単位：百万円

	2022年12月期末		2023年12月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	14,058	65.5%	15,215	66.6%	+1,157	受取手形、売掛金及び契約資産 +1,228 仕掛品 +142 流動資産その他 △188
うち現預金	2,199	10.2%	2,203	9.6%	+3	
固定資産	7,405	34.5%	7,620	33.4%	+214	
資産合計	21,463	100%	22,835	100%	+1,372	
流動負債	5,803	27.0%	6,645	29.1%	+841	支払手形及び買掛金 △485 短期借入金 +604 1年内返済予定の長期借入金 +524 その他 +231
固定負債	5,951	27.7%	6,595	28.9%	+644	長期借入金 +620
負債合計	11,754	54.8%	13,240	58.0%	+1,486	
純資産合計	9,709	45.2%	9,595	42.0%	△114	
負債・純資産合計	21,463	100%	22,835	100%	+1,372	

## 経営理念

# 想像と技術と情熱で快適な未来を創造

## Vision

### 笑顔になれる企業グループ

- 優秀な人財が集い、成長と自己実現を両立し、ワクワクとした仕事ができるグループ
- お客様に新しい価値を提供し「ありがとう」と言われる企業グループ
- 健全で適正な利益を生み、社員とその家族を幸せにし、そして株主にも満足してもらえるグループ

## FIGグループのValue

- ベンチャー精神を忘れず、現状維持には満足しない
- リスクのないところにチャンスはない、情熱を持ってチャレンジを続ける
- 慈愛の精神を忘れず、相手の事を考えるのを忘れてはならない
- 行動は正しくなければならない
- 知能だけでなくセンスが大事、行動し経験を積むことで養われる
- 物事を俯瞰して見る、角度を変えれば見え方も変わってくる
- 正しく伝えることは難しく、伝える力が財産になる
- コミュニケーションを大切にし、グループ会社とその組織は横断型でなくてはならない
- スピード自体が大きな価値になる
- どうやれば出来るか、諦めるのは最後の選択



## ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



### Environment

#### ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



### Social

#### グループの技術で快適な未来を創造

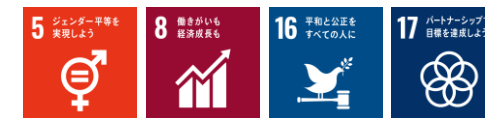
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



### Governance

#### 経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化



## IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

## タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



## ペイメント

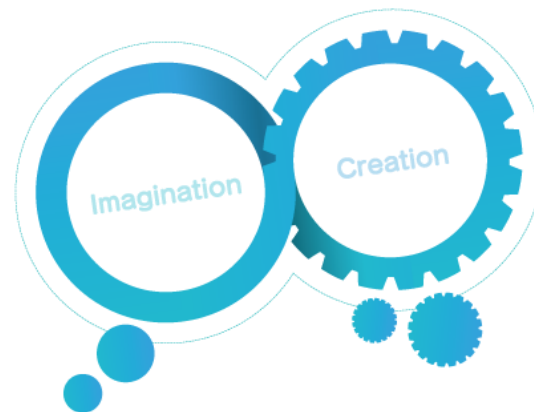
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



## バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



## 半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



## ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティーホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

## ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレータが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。





## ドローン



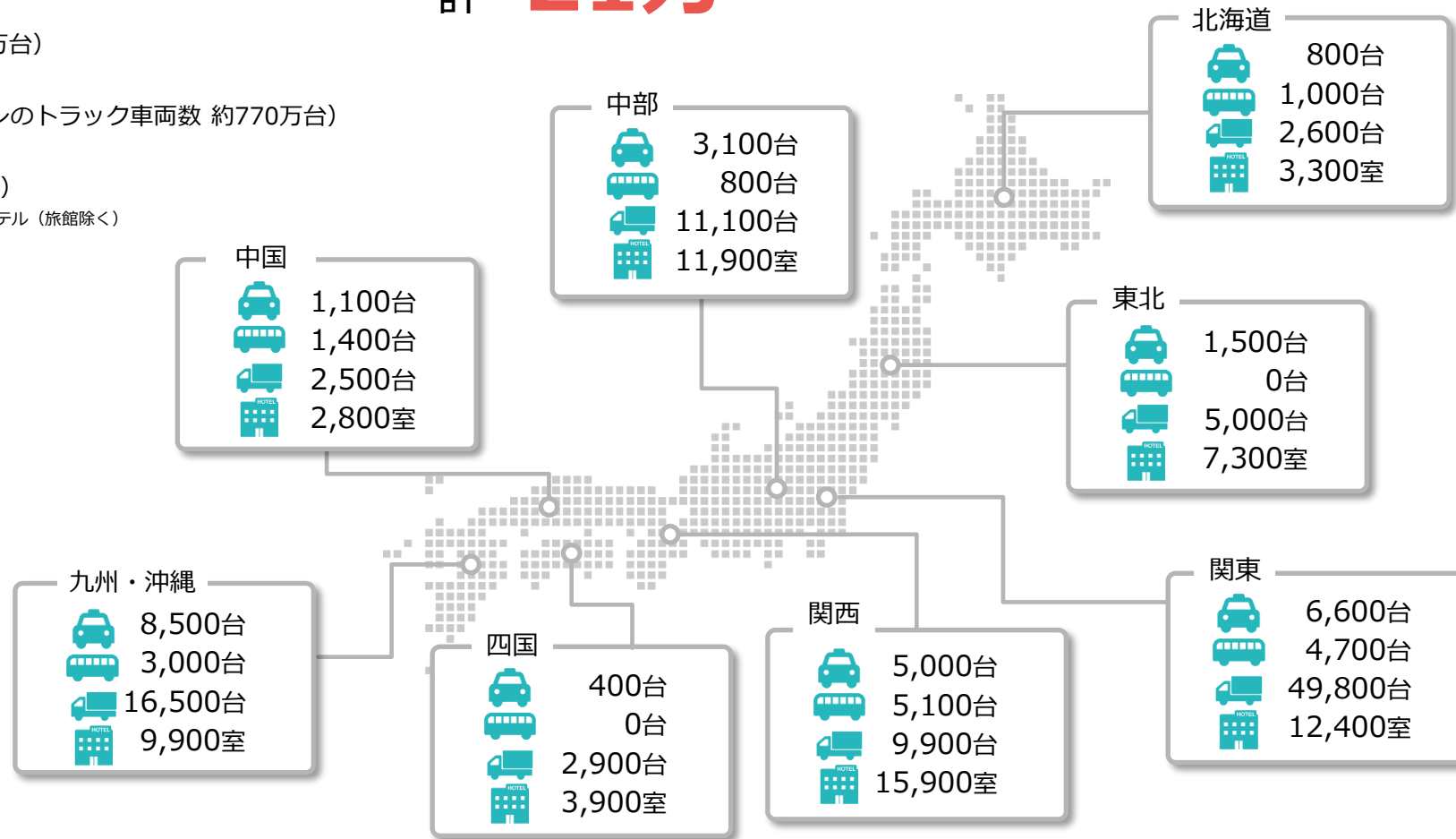
産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参加しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

## 顧客基盤（月額サービス契約数）

2023年12月時点

-  タクシー 約27,000台  
(シェア13%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約16,000台  
(シェア28%、乗合バス車両数 約5.7万台)
-  物流他 約100,300台  
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約67,400室  
(シェア6%、ホテル客室数 約115万室)  
ホテル：ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテル（旅館除く）

計 **21万**





Future Innovation Group

【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部  
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※ 「Kitaca」は、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。

※ 「TOICA」は、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「manaca」「マナカ」は、株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーの登録商標です。

※ 「ICOCA」は、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「SUGOCA」は、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「nimoca」は、西日本鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「はやかけん」は、福岡市交通局の登録商標です。

※ 「iD」ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

※ 「QUICPay+TM(クイックペイプラス)」は、株式会社ジェーシービーの登録商標です。

※ 「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

※ 「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。

※ 「nanaco」は、株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※ 「au PAY」は、KDDI株式会社の登録商標です。

※ 「d払い」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

※ 「メルペイ」は、株式会社メルカリの登録商標です。

※ 「PayPay」は、PayPay株式会社の登録商標です。

※ 「Alipay」は、アリババグループホールディングリミテッドの登録商標です。

※ 「WeChat Pay」は、テンセントホールディングスリミテッドの登録商標です。

※ 「楽天ペイ(アプリ決済)」は、楽天グループ株式会社の商標または登録商標です。

※ 「ゆうちょPay」は、日本郵政株式会社の登録商標です。

※ 「LINE」はLINE株式会社の登録商標です。

※ 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブ、「OKICA」は沖縄ICカード株式会社の登録商標です。